

奈良新聞

NARA NEWS PAPER

令和6年(2024年)4月13日 土曜日

生駒に「子ども発達支援デイサービス」オープン

こども発達支援放課後等デイサービス「grow room(グロウルーム)」が、生駒市西松ヶ丘にオープンした。同市認可保育所「ギズ・ガーデン」も近鉄生駒駅前から移って併設され、子どもたちの元気な声が施設内に響いている。

県内外で6店舗の調剤薬局などを展開する有限会社アル(本社=同市北新町)が運営。発達障害の子どもが成長時期に合わせ、個々に応じた専門性のある療育を掲げる。

生きる力を育てる



スタッフは、幼稚園教諭経験者や言語聴覚士など。専門の視点で発達障害の子ども特有の体の使い方などを

子どもが自然と遊べるような遊具がそろう機能訓練室(3月29日、生駒市西松ヶ丘の「こども発達支援放課後等デイサービスグロウルーム」)

考えて遊ぶ遊具など

ルダリングのような子ども向けウォール遊具が壁を覆い、ブランコ、滑り台、ネット遊具など、子どもの興味を引く遊具がずらり。滑り台で遊ぶためには、どこから登ればいいのかなど、子どもが考えながら遊べるのも特徴となっている。

見学可能(要事前申し込み)。時間は午前9時~午後6時。日曜、祝日は休み。問い合わせは、同施設、電話0743(85)5310。

を見てサポート。子どもが自然に手足を動かしていく様に、それが脳機能を高めさせて子どもの生きる力につながるように、単なる課題対応の訓練ではない支援を目指す。施設内の広い部屋にはボ

アル代表取締役の稻田増美・施設長は、自身の子育ての経験と薬剤師として地域の人の健康に関する中で、療育施設には環境が大切だと気が付いた。

「子どもは動いて考えながら自分なりの遊びを楽しむことが大事。療育施設を求める保護者には、利用しやすさを提供したい」と話す。